登録商標

田中家通信

発行
田中家石材
彦根市高宮町108-1
Tel. 0749-24-2789
VOL. 6

みなさん、お盆がやってきましたよ！

大乗経典の「盂蘭盆経」にある目連説話…

《餓鬼道に落ちた母を救うために目連が仏に手段をたずねたところ「7月15日に飲食を盆にもって、仏や僧や大勢の人たちに供養すれば、その功徳によって、多くのご先祖が苦しみから救われ、今生きている人も幸福を得ることができよう」と教えられた…》に基づいたもの、といいます。

お盆の日取りは一般的には8月13日から16日にかけて行われていますが、本来は7月15日なのです。元々当然旧暦の7月15日に行っていた行事なので、新暦の7月15日にしようとすると、お盆らしくない時にお盆になってしまいます。旧暦では、新暦の生活をしている一般の人には不便(七月の農繁期を避けるなどの理由)なので、妥協策の謂わゆる「中暦」を適用し、新暦で1月遅れの8月15日にお盆の行事を行っているのです。

お盆(盂蘭盆会)は、先祖や亡くなった人たちが苦しむことなく、成仏してくれるようにと、私たち子孫が、報恩の供養をする時なのです。家族や一族があつまりご先祖を供養し、亡くなられた人を偲ぶ行事として行なわれます。家族や一族が集まり、**故人の思い出を語り合うことは大変に意義ある素晴らしい風習であると思います。**

お墓参りになかなか行けない人も、日頃のお礼の気持ちをご先祖様に伝えるいい機会です。地方によってその日程などは多少異なりますが、その心は同じです。

家の事情によってお墓やお仏壇を置いていない家庭も多いようですが、お盆の間だけでも先祖への気持ちを大切にして**手を合わせてみませんか。**

盆おどり

盆踊りについては、さまざまな説があります。

- **お盆にもどってきた精霊を慰め餓鬼や無縁仏を送るための踊りという説。**
- **お盆の供養のおかげで成仏することのできた亡者たちが歓喜する姿を表現したという説。**
- **お盆にもどってきた精霊たちを踊りに巻き込みながら送り出すためという説。**
- **悪霊や亡者たちを踊りながら追い出すものといろいろです。**

いずれにしても、祖先たちの精霊のために踊るものですが、同時に、私たち生きている者の楽しみの一つであり、喜びの表現でもあります。

盆おどりのルーツ

・盆踊りは本来は仏教行事です。

平安時代、空也上人によって始められた念仏踊りが、盂蘭盆の行事と結びつき、精霊を迎える、死者を供養するためのものという意識になっていきました。室町時代の初めには、太鼓などをたたいて踊るようになったといわれています。

時代とともに、宗教的意識は薄くなり、民衆の娯楽として発展してきました。地方によっては男女の出会いの場、求婚の場として、重要な行事と移り変わってきました。

現代では、すっかり**“踊りを楽しむお祭”**として各地で催されるようになっています。

お中元

7月13日から7月16日の4日間は「盂蘭盆会」、すなわち「お盆」と呼ばれ、祖先の霊を迎えて祭る行事として今日まで仏教行事のひとつとして引き継がれています。そのお盆の時期になると私達は毎年親しい友達や日頃からお世話になっている親類や会社の上司や知人などに「お中元」を送ります。「盂蘭盆会」には「盆礼」といって親類や知人の家を訪問し挨拶して進物の贈答が行われていました。

昔は車や電車がなかったので徒歩や駕籠で訪ねて挨拶をしていたそうです。それが今日では「儀礼」の部分が残り、運送が発達しているためにデパートからそのまま送るような風習に変わりました。昔は「盆礼」は「十五日」に行われ、「十五日礼」呼ぶ地方もあるそうです。1年間のうち正月十五日を上元、十月十五日を下元とし、その中間の七月十五日を「中元」ということからその名が付いたようです。

縁起物

フクロウ

フクロウは、不苦労とも書き又富久老ともかきます。つまり長寿で富んだ苦労の無い人生を送ると言うことです。**《よく首が回る》**=(景気低迷の作今、右に180度、左に180度廻る首で世の中をしっかり見据えていき苦労ない)、また**《目利き》**=(暗い時代にも進むべき道を見つけ出してくれる)といわれ商売繁昌にもつながるようです。

福　籠　(福がこもる)
福来朗　(福が来て明るくなる)
不苦労　(苦労知らず)
富久老　(長寿で富んだ人生)

かえる

日本では『**かえる**』は「**蘇る**」「**若返る**」などの言葉に関連し、いつまでも若々しく、長寿をもたらすと言われています。

また、「**無事帰る**」という言葉から、旅行や交通安全のお守りにもなっています。そして、「**お金が返る**」という意味から金運を育むお守りでもあります。

■蛙八相縁起

●火災予防の御守り●落雷予防●害虫撲滅、無病息災●災難よけ●常に親なる責を負ひ、子はしっかりと親に従ふ●身心の修養垂範●威風堂々礼節を知る●屈伸活発、待機していざなる時は飛躍前進

季の詩

「花火」

人生は花火のように短くはないけれど
ひとつの花火をゆっくりゆっくり
何十年もかけて打ち上げているような
そんな人生でありたい

大きくなくても　美しくなくても
立派でなくてもいい
私らしく　私が満足できればそれでいい
最後には何の未練も残さず
きれいに消えて無くなります

産経新聞　朝の詩より

創業明治四十一年　**株式会社　田中家石材**
〔お墓〕〔墓地〕等、石に関するご相談は
0120-68-1082
全優石　全国優良石材店
田中家石材

■会社概要
●許可登録／滋賀県知事許可　第〇五一二七四号
●営業品目／寺院関連製品（各宗派吉相墓・記念碑等）
社寺関連製品（鳥居・狛犬・灯籠・玉垣等）
記念碑・公園石施設・美術工芸品等
環境石材製品・モニュメント・
化石・鉱物・宝石・岩石・珍石等
●技術資格／厚生労働大臣認定　石積一級技能士
厚生労働大臣認定　石貼一級技能士
厚生労働大臣認定　石材加工一級技能士
◆松下電工労働組合加盟店　◆ブリヂストン生協加盟店
◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店
大・小石造物、化石、岩石等、展示即売
高級墓石、常時百基を大切に「屋内展示」致しております。

平成18年・春、展示場拡張・新築記念行事予定